

法人（事業所）理念		その子らしさや自己肯定感を大切に、元気いっぱいのにびのにびと！						
支援方針		ノーマライゼーション・インクルージョンの豊かな人権感覚をベースに、一人ひとりの発達に応じた支援および自発性を大切にした支援を行います 未来を生きる子どもたちの「自己選択自己決定」を大切に、「生きる力＝気付きによる自ら育つ力」の育成を目指します 日常の総合的療育に加え、言語聴覚士をはじめとする心理士、経験者による個別集中的な支援や音楽療育も実施していきます						
営業時間			9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・生活リズムの安定（定期的な通所による習慣化） ・トイレトレーニング（幼児）、活動の節目で排泄出来るよう自然に促し、見通しをもって生活出来るようにする ・成長し年齢が上がるにつれ感情の葛藤のコントロール（心の健康）、分かっている自尊心や不安感で気持ちが混乱し行動に移せない時には優しい気持ちで寄り添い支援する ・近隣の温泉に小集団で入浴し、心身のリフレッシュと清潔を保つ						
	運動・感覚	・音楽、リズムに合わせて体を動かす遊びや運動、音楽療育は聴覚視覚および手指先の感覚を楽しく認知し自己表現を促していく、脳への刺激や発達にも繋がる ・近隣の公園でボール遊びや自転車乗りをしたり体育館を貸し切り身体を動かして楽しく発散する ・ツールを使いコグトレを実施、緩急をつけるなど身体の力加減のコントロールを練習する、気持ちのコントロールにも繋がる ・雪合戦競技（オールシーズン）を個別及び小集団で行い、運動能力、バランス感覚、距離感等様々な身体感覚の成長に作用する、気持ちのコントロールにも繋がる						
	認知・行動	・多種多様なおもちゃ遊びや小集団でゲームを行う際に自然発生する行動の適切な構築、認知の偏り等の配慮 ・季節の変化に応じた感覚形成のための外出や行動 ・スライムやプラ板等による物の変化と感覚の認知、制作活動による手指先の感覚を認知し製作の喜びや達成感を感じる ・要望に応じて小中学生の宿題のお付き合（学習サポート、習慣的に）を実施、あくまで本人の意志に委ね頑張ってもらったと感じられるよう関わりを大切にする						
	言語 コミュニケーション	・言語聴覚士による個別または小集団の個別集中的な支援「言葉の教室」、頭の中で主語、動詞、疑問等を整理して言葉としてアウトプット出来るようにする ・自傷行為や暴言やちょっかいを出すなど不適切な行動も子どもにとっては何かしらの問題に対処している行動と捉え、適切な行動が出来るようアプローチしていく ・暇な時間を苦痛に感じる子どもに対して、待つこと、余暇の過ごし方などを一緒に考える ・不登校、ひきこもり児童に対する支援						
	人間関係 社会性	・一人遊び、連続的な遊びの組み合わせ ・役割分担のある遊びなど共同遊び、自己主張と他者の意図の汲み取り、自分で行動を調節する力を遊びと関わりの中で獲得していく ・アタッチメント形成（日々の声掛けや面談で他者との関わりを認識し自己肯定感を高め認める） ・自然的に獲得するソーシャルスキルトレーニング、小集団での活動やスタッフのアプローチ、友達との関わりを通じて実践的に身に付ける						
家族支援		日常生活で困り事や社会資源の不足が無いかなど、必要に応じて助言を行う 家族や兄弟の関わりやケア等助言を行う				移行支援	・退所後の受け入れ機関を探したり受け入れ先機関と連携し、スムーズに移行出来るよう協力する （卒業後の進学先や就労先、通院・入院先等）	
地域支援・地域連携		・他の通所事業所との連携 ・地域行事（お祭り等）への外出参加 ・地域の児童発達支援センターとの連携 ・地域支援部会等への参加 など				職員の質の向上	・児童発達支援センターや児発達主催の研修大会に定期的に参加 ・社内での勉強会、事例検討会を実施 ・児発管、強度行動障害等の資格取得 など	
主な行事等		季節の行事、お誕生会、果物狩り、 市内近郊の施設への外出、 など						